



山本りゅう

ROUTE 前橋 市政継続

市民サービスにはお金が必要です。私はやりくり(無駄を減、税収を増、民間活力)をしながら、市民負担を増やさず、暮らしを支え、健康を守り、経済を回す投資を行ってきました。
責任をもって市行政のリーダーとして全国的にトップレベルの前橋の「生きやすさ」をさらに伸ばして行きます。
私は「公平な心」「決断」「スピード」をもち
2020マニフェスト”を実現します。

約束 高校生までの医療費無料化を決定

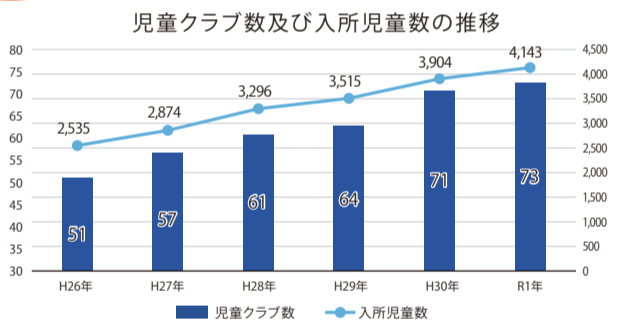
予算額 (ごみの減量によって生み出した3億円から充当します)
2億円 学校の部活での怪我や病気、高校生の医療費を応援していきます。

幼稚園、保育園、子ども園に運営支援員の配置

予算額 (国の補助75百万と子育て無償化で浮いた財源を充当します)
1.5億円 さまざまな業務が保育の現場に集中しています。保育士や幼稚園教諭の不足は深刻で施設の入園定員も、未満児保育もスタッフ不足で出来ない状況です。保育現場の環境改善が急務です。

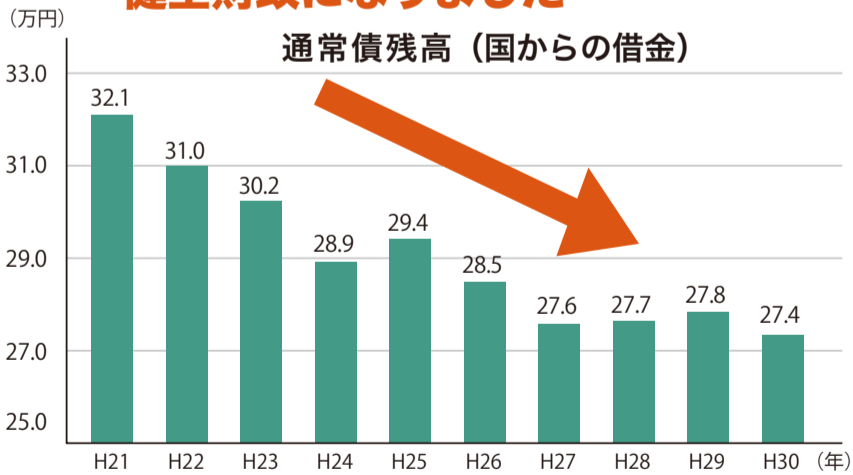
学童保育6年生まで拡大中。働くお母(父)さんも安心

出来ました 病児病後児の預けられる施設も4カ所目が完成



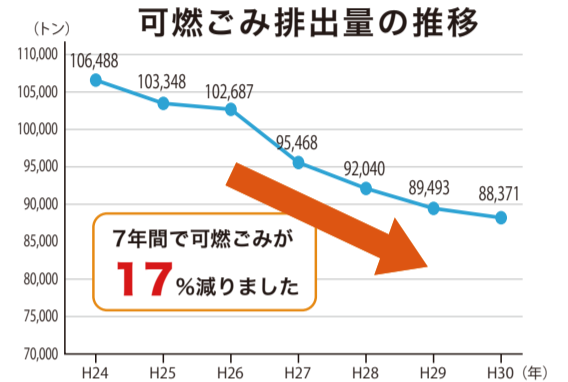
私の任期の間で学童クラブを頑張って増やしてきました。働くお父さんやお母さんの応援になるからです。今では99%の小学生が6年生まで通えるまでになりました。インフルエンザでも預けられる施設も市内に増やしていきます。

報告 やりくりを続け 国からの借金を減らし、健全財政になりました



御礼 ゴミが減少！延命化修理で六供清掃工場は25年間大丈夫です！

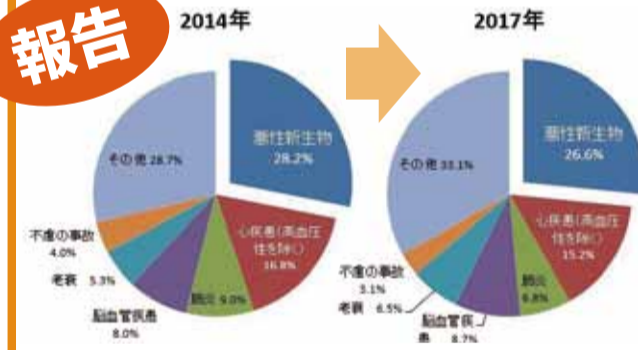
ゴミは減らすのは市長の責任です。今後も市民のゴミ分別や減量をお願いし、古紙・古着・ペットボトルなどの集団回収への奨励を進めます。下増田サッカー場は残せません。しかも、2炉の廃止で貴重な財源3億円が生まれました。



大胡 亀泉が廃止。浮いた財源は毎年**3億円**

報告 がん検診受診率が第1位(指定都市・中核市)になりました。

報告



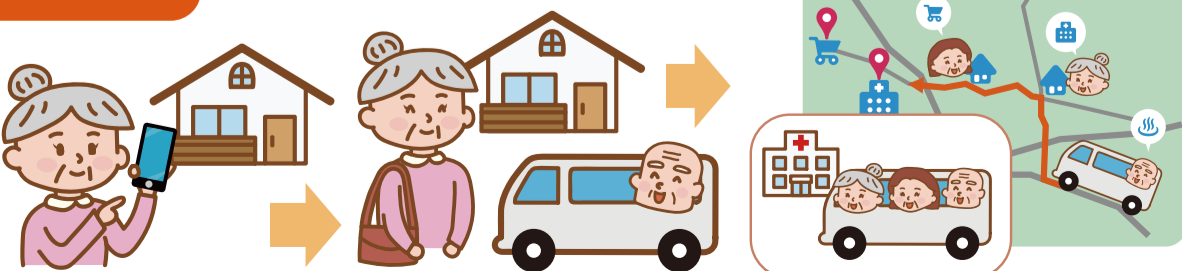
私の市長就任からがん検診の無料化を実施し、検診⇒早期発見⇒早期治療を呼び掛けてきました。その結果、受診率の増加と同時に死因に占めるがんの割合が少しずつ減少しています。
病気が減れば、国保料に引き下げも可能です。

約束 若者の結婚の出会いと働く場を作ります

- 市役所が運営する無料の結婚相談センターをスタート
- 新産業団地を造成し産業誘致します。(西善中内、南部、清里、宮城、既存団地拡張など)
- 事業所税の還元制度の創設で企業経営を支援します
- デリカ産業の食物残差の減量化やリサイクルを支援します
- 小口資金における信用保証料の全額補助期間を延長します
- 高齢農家への補助や6次産業化を応援(前橋の逸品)します
- 農業用施設への償却資産税を減免します

2022年に実現!

マイタクで買物も通院も安心



マイタクを前橋市内全体でもっと利用してほしい。そのためにはマイタクや様々な交通を組み合わせる自宅から目的地まで運べる仕組みを作ります。ボタンを押すだけで迎えが来る仕組みを2022年までに構築します。前橋は政府からモデル都市に指定されています。



■元総社の市民活動に感謝します

ゴミ減量の市民活動により家庭からのゴミの量が減り、なんと六供の清掃工場の改修工事の完了と同時に亀泉、大胡の2清掃工場の廃止することが可能になりました。3億円の費用が削減できます。まさに市民活動の大きな成果です。民生児童委員の活動や生涯学習、スポーツ推進、公民館でのピンシャン体操や公園管理などのさまざまな活動を支える皆さんに感謝を申し上げます。

■危険な道路の改良が始まりました



交差点事故

事故防止に役立ててもらおうと、日本損害保険協会(東京都)はホームページ(HP)で公開している「全国交通事故多発交差点マップ」を更新した。県内で昨年1年間に人身事故の件数が最も多かったのは前橋市の「元総社町南」(13件)だった。同交差点は2年連続のワースト1位。同協会は事故の多い上位5カ所をHPで紹介し、注意を促している。

損保協会マップ、昨年1年

元総社町南(前橋)最多13件

「元総社町南」交差点

「元総社町南」交差点は、市道と国道17号が交差する。この交差点は、昨年1年間に人身事故13件、物損事故11件、死傷事故1件が発生した。この交差点は、2年連続のワースト1位。同協会は事故の多い上位5カ所をHPで紹介し、注意を促している。



国道17号ヤマダ電機交差点から総社神社への道路改良が地域の区画整理事業によって始まります。

■利根分署の新築により救急車の搬送時間短縮を目指す

現在前橋市消防局ではドクターカーの運行によって患者さんの救命率を伸ばしています。利根分署の新築によりもっと迅速な対応が可能になります。現在の前橋消防の29.9分は全国2位です。ちなみに東京消防は52分です。



前橋市は東京オリンピック パラリンピックのホストタウンです



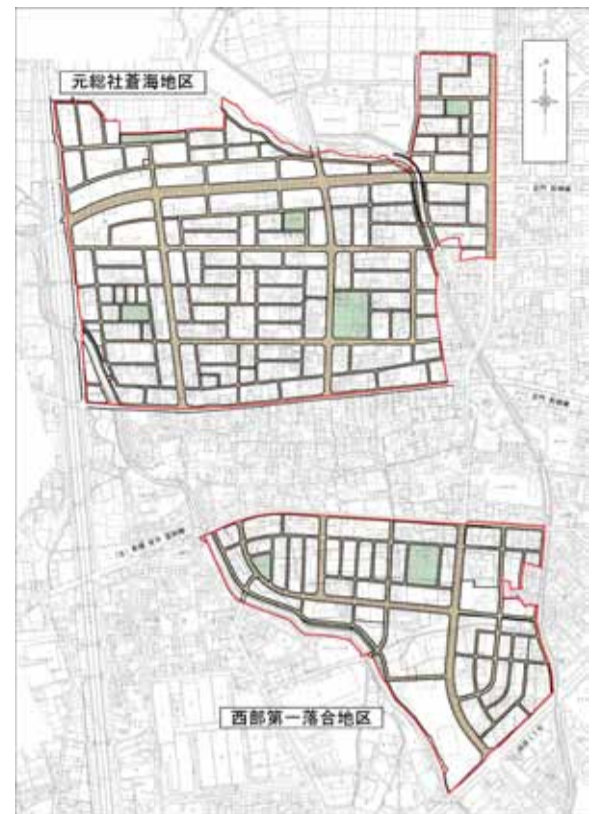
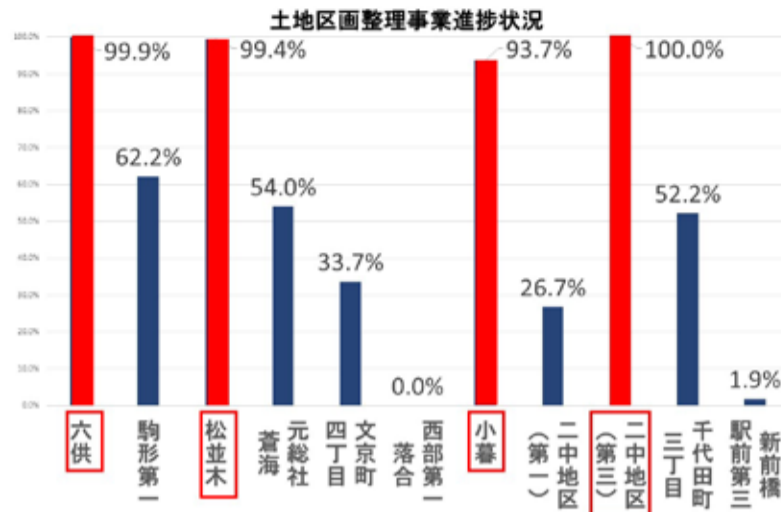
山本りゅう 後援会事務所

〒379-2166 前橋市野中町386

電話番号: 027 226-5803 FAX番号: 027-226-5812

■蒼海に続き西部第一落合でも区画整理が始まります

市内で11地区の区画整理事業を前橋市は行っていますが、4地区の事業が終了します。この予算を7地区に充当することで、工事の進捗を早めていくことができます。



■学校の安全も進めています

大阪地震の際に倒壊した塀によって児童が死亡した事故以来学校の塀の再点検を進め危険があればフェンスへ変更しています ※元総社中学校



■完成予定の大渡の体育館です

現在プールの改修も進めています



■済生会病院への支援を行います

昨年に厚生省から発表された済生会前橋病院の再編・統合の指摘を踏まえて群馬県と前橋市は済生会の建て替えに向かったの準備を進めています。通常、済生会の建設については群馬県と前橋市が同額を負担することになっています。

■JR新前橋駅の乗降客数をもっと伸ばします

新前橋駅を便利にします。平面の市営駐車場の立体化や、駅の東と西に駐輪場の整備により駅周辺に拡散した駐輪機能を整備し直します。また電動GPS管理のシェア自転車のポートの設置により駅周辺の回遊性も図ります。これによって駅に新しい価値をつくります。



災害でも水・電気・ガスが止まらないまちを目指しています。とくに病院や避難所は無停電化を進めます。利根川はじめ市内の河川のリスクを回避するために河川浚渫や、ダム貯留機能の確保、河川の樹木の伐採などを国に要請しました。

